

西諸県地域の普及活動（普及活動月報）

令和 8 年 7 月 西諸県農林振興局

（西諸県農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P 2)
 - 1 かぼちゃ講習会が開催
 - 2 7月期子牛郡品評会が開催
 - 3 西諸県地区営農振興協議会特用作部会の開催
 - 4 令和8年度西諸県地区花き振興会総会及び研修会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組み (P 3～4)
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 3～4)
 - (耕畜連携が育むしなやかで強い畜産産地づくり)
 - 1 飼料用米講習会の実施
 - 2 牛舎の遮熱資材を用いた暑熱対策の現地実証開始
 - 3 セリ前講習会の実施
 - (加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり)
 - 4 畑地における緑肥導入効果を調査
 - 5 水サボ隊による散水支援を実施しました
 - (先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり)
 - 6 令和8年度西諸県農業者セミナーを開講
 - 7 JAこばやし令和8年度産促成きゅうり出荷反省会を開催
 - 8 ぶどうクイーンニーナのアブサップ液剤の散布
 - 9 西諸県地区果樹技術員会第3回定例会
 - (気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立)
 - 10 第2回水稻栽培講習会を開催
 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 5～7)
 - 1 西諸県地区農業経営指導士会総会及び普及指導活動計画検討会を開催
 - 2 就農相談会を実施
 - 3 九州・沖縄地区青年農業者会議でえびの市SAP会員がプロジェクト発表
 - 4 高原町花卉部会定例会が開催
 - 5 夏秋ピーマン産地視察の実施（大分県、西臼杵地域）
 - 6 JAえびの市夏秋きゅうり栽培講習会及びほ場巡回を実施
 - 7 第17回JAこばやしピーマン部会定期総会の開催
 - 8 令和7年度JAこばやしにら部会講習会及び定期総会の開催
 - 9 令和7年度小林市いちご生産部会定期総会の開催
 - 10 小林市須木果樹振興協議会の栗夏季剪定講習会の開催
 - 11 宮崎県果樹振興協議会くり部会栽培研修会の開催

I 管内農業・農村の主な動き

1 かぼちゃ講習会が開催

14日、JAみやざきえびの市地区本部にて露地抑制かぼちゃの生産者講習会が開催され、普及センターから栽培のポイントや高温対策を説明しました。

質疑応答では、「親づる一本仕立てや1玉収穫は必須か」との質問に対し、これらは推奨される栽培方法の一つであると伝え、納得していただきました。



【露地抑制かぼちゃ栽培ポイントの説明】

2 7月期子牛郡品評会が開催

10日に、小林地域家畜市場において、JAみやざき西諸県家畜市場運営部主催による令和8年7月期子牛郡品評会が開催されました。

15日から17日に開催される7月期子牛セリ市に出荷される雌子牛のうち、市町子牛品評会を経た36頭が出品され、審査の結果、優等賞に6頭、壹等賞に18頭、貳等賞に12頭が選ばれました。なお、優等賞首席は小林市の山田和博さん出品の「第5ふくたか」号（父：孔明桜）、2席は高原町の山田祐二さん出品の「りんりん」号（父：孔明桜）、3席は小林市野尻町の竹山昭徳さん出品の「ながおか699」号（父：白隆鵬）が受賞されました。

受賞牛は、発育良好、体積豊か、側望からの均称に優れ、雌牛らしい品位が秀でていたとの講評でした。



【優等賞首席「第5ふくたか」号】

3 西諸県地区営農振興協議会特用作部会の開催

22日に普及センターにおいて特用作部会を開催しました。

会議では、現在のかんしょの生育に関する情報提供や病害診断のポイントについて普及センターから説明するとともに育苗に関する問題点や課題についての検討を行いました。

また、会議終了後は、かんしょほ場の巡回を行い、一部で病害虫の発生が確認されたものの、概ね順調な生育であることを確認しました。



【かんしょほ場巡回の様子】

4 令和8年度西諸県地区花き振興会総会及び研修会が開催

30日に、県の小林総合庁舎を会場に、花き生産者12名と関係機関12名が参加し、西諸県地区花き振興会の総会及び研修会が開催されました。

総会では昨年度の実績や今年度の計画が審議され、いずれの議案も承認されました。昨年は管内在住の最高齢者へのキク贈呈や市内小学校での鉢苗物寄せ植え、県の花き展示品評会へのランキュラス出品など、様々なPR活動を行いました。今期も活発な活動が計画されています。研修会では、県の専門技術センターから病害虫担当専技を講師に迎え、花き類病害虫防除対策について講演がありました。

花き生産の経営は、依然として厳しい状況ですが、県やJA、市町など関係機関と協力して引き続き支援します。

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

(耕畜連携が育むしなやかで強い畜産産地づくり)

1 飼料用米講習会の実施

29日にえびの市内の飼料用米生産者を対象に講習会を開催し、5名の参加者がありました。

講習会では今後の栽培管理や、病害虫の発生状況、乾田直播栽培について説明しました。講習会終了後には、参加者とともにほ場でウンカ等の発生状況を確認しました。

今後も生産者へ情報提供を行い、飼料用米の安定生産に向けた支援を行っていきます。



【講習会の様子】

2 牛舎の遮熱資材を用いた暑熱対策の現地実証開始

30日、えびの市の肉用牛繁殖農家にて、関係機関（JA、市、資材メーカー）協力のもと、牛舎内への遮熱シート（建築用の「タイベックシルバー」）設置を実施しました。

8月～9月の期間で実証試験を行い、暑熱軽減効果や設置コスト、農家の反応などを取りまとめ、今後の普及に向けた検討を行う予定です。



【遮熱シート設置の様子】

3 セリ前講習会の実施

15日から17日に、小林地域家畜市場において、子牛セリ市開始前に講習会を行いました。

普及センターから「飼料作物の品種選択」を、NOSAIから「暑熱ストレス対策」をテーマに講習会を行い、延べ170名程度の参加がありました。参加者からは、イタリアンライグラスの品種について質問があり、自給粗飼料の生産について見直すきっかけになりました。

今後も継続して、基本的技術の紹介を行っていきます。



【講習会を聞く農業者】

(加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり)

4 畑地における緑肥導入効果を調査

1、7、15、23、30日に緑肥を導入している生産者4名の緑肥栽培圃場の土壌診断や生育調査を行いました。管内では、畑地における緑肥栽培の作付けが増えています。

調査結果や栽培事例を元に、11月に土壌研修会を開催予定です。



【緑肥ソルゴの生育状況】

5 水サポ隊による散水支援を実施しました

21日、小林市細野のさといも、かんしょ栽培農家より干ばつによる作物への影響を懸念する相談を受け、圃場への中型スプリンクラーの設置を支援しました。

設置後、作物への給水状況を確認していただき、干ばつ時のかん水効果に満足している様子でした。



【散水器具の組立状況】

(先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり)

6 令和8年度西諸県農業者セミナーを開講

2日、普及センターで令和8年度西諸県農業者セミナー（アグリ★ベーシックセミナー）が開講しました。セミナーは、2日から22日まで、計4回実施し、延22名の新規就農者等が参加しました。内容は第1回目が「普及センターの機能役割についての紹介」、「西諸県地域の特徴と農業」、「農作業安全」について、第2回目が「就農ガイドランス」について、第3回目が「収入保険や農業共済」、「鳥獣被害の現状と対策」について、第4回目が「肥料の効果と使い方」、「高温障害と対策」で、講師は普及センターやNOSAI宮崎西諸センターなどが務めました。

講義終了後にも研修講師に対して個別に質問するなど、積極的に参加する様子が見受けられました。



【セミナーで真剣に講義を聞く受講者】

7 JAこばやし令和8年度産促成きゅうり出荷反省会を開催

23日、小林集送センターにて令和8年度産促成きゅうり出荷反省会が開催され、作終了後の反省会として今作の栽培状況や栽培管理の振り返りを行いました。

JAこばやしから販売実績について説明が行われた後、普及センターからは昨年度作の生育調査結果に基づいた適切な摘果方法について説明を行いました。

近年、異常気象が激化する傾向にあり、年々栽培が難しくなっているため、生産者が気候変動に適応しつつ安定した栽培管理を行っていきけるよう、しっかり支援を行っていきます。



【促成きゅうりの栽培講習】

8 ぶどうクイーンニーナのアブサップ液剤の散布

22日、小林市内のぶどう園地にてアブサップ液剤の散布を営振協展示として実施しました。

昨年は、ピオーネで散布時期の検討を行いました。今年はクイーンニーナの適正な散布濃度と労働時間への影響を調査します。

今後は定期的な着色状況調査と8月末には果実分析等を行う予定です。



【アブサップ液剤の散布】

9 西諸県地区果樹技術員会第3回定例会

21日に、生産者ほ場にて、関係機関8名でマンゴーの根量調査を実施しました。この調査は、令和8年産の後期出荷型ハウスで花芽の発生状況が不調であったため、原因解明のために実施しています。

先月は花芽の発生状況が不調であった園地を調査し、今回は多くの花芽発生が好調だった園地で調査しました。今回の2園地はともに多くの発根が見られました。

花芽の発生にはさまざまな要因があるため、そのほかの要因も調査を行う予定です。



【根量調査の様子】

(気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立)

10 第2回水稻栽培講習会を開催

15～16日にかけて、JA高原支店、JA野尻支店、須木ふれあいセンター及び普及センターにて、第2回こばやし地区水稻栽培基礎講習会をJAと協同で開催し、当管内の生産者34名が参加しました。

講習会では、水稻栽培管理の後半（中干し、穂肥、病虫害防除、収穫）や高温対策、藻類について基礎的な内容を説明しました。

次回は12月に、今年度の作況や来年度に向けた栽培管理について講習する予定です。



【講習会に参加する生産者】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 西諸県地区農業経営指導士会総会及び普及指導活動計画検討会を開催

22日、農業経営指導士10名の出席で総会を開催しました。昨年度の事業実績及び今年度の事業計画について協議するとともに、農政に関する意見・要望の取りまとめも行いました。また、普及指導活動計画検討会では、普及センターから地域プランの単年度計画と地域課題一覧について説明を行いました。

農業経営指導士の皆様からは実情に即した御指導、御助言をいただき、これらを踏まえ、今後の普及活動に取り組んでいきます。



【総会の様子】

2 就農相談会を実施

9日、小林市で、肉用牛繁殖で就農予定の方1名、7日、きゅうりで計画の変更を希望されている方1名、6日及び17日、えびの市で、稲作・露地野菜の複合経営での就農希望の方2名、24日にいちごで計画の変更を希望されている方1名、10日及び17日、高原町で、肉用牛繁殖での就農希望の方1名に対して就農相談会を開催しました。

青年等就農計画の認定を目指す方に対しての各段階での計画協議から既に認定を受けた方の認定計画の見直し支援まで、相談者に応じた対応を行いました。今後も引き続き、青年等就農計画認定を見据えながら就農計画の策定を支援していく予定です。

※就農相談対応 6名8回

(内訳 小林市：肉用牛繁殖1名、きゅうり1名 えびの市：稲作・露地野菜2名、いちご1名 高原町：肉用牛繁殖1名)

3 九州・沖縄地区青年農業者会議でえびの市SAP会員がプロジェクト発表

8日から9日に鹿児島市で九州・沖縄地区青年農業者会議が開催され、宮崎県代表の1人として、えびの市SAP会議から樋渡氏が園芸・特産作物部門において「夏秋ピーマンにおける高温への対応」の取組についてプロジェクト発表を行いました。

審査の結果は、発表者8名中2位と惜しくも全国大会出場は逃したものの、課題解決のための手法や活動をわかり易くまとめた発表内容は九州代表に選出された発表にも全く引けを取らないものであったように思われます。

今回の発表が他のSAP会員のお手本として、今後のプロジェクトの取組につなげられるよう支援を行っていきます。



【えびの市SAP会員によるプロジェクト発表】

4 高原町花卉部会定例会が開催

23日に高原町後川内にて、生産者6名と関係機関5名が参加し、定例会が開催されました。

まず会員のほ場を巡回し、生育揃いが良いことを確認しました。しかし、一部のほ場でアザミウマが発生していたため防除指導しました。定例会の中で、普及センターからは、アザミウマやハダニなどの害虫対策について、農薬のローテーション散布やハウス周辺の雑草管理の重要性などを説明しました。基本的な内容ですが、改めて認識していただきました。

今後も良品生産に努める部会員の皆さんをしっかりと支援していきます。

5 夏秋ピーマン産地視察の実施（大分県、西臼杵地域）

6月30日から7月1日にかけて、大分県及び西臼杵地域の夏秋ピーマン産地視察を実施し、県内各地区本部のピーマン担当者及び専技、普及センター職員が16名参加しました。

今回の視察は、近年の高温化に対応した夏秋ピーマンの安定生産技術について、高温対策技術や栽培管理手法、産地の取組状況を調査することを目的とし、現地ほ場や試験場で生産者やピーマン担当者と意見交換を行いました。現地では、高温対策及び独自の栽培管理技術について学び、ハウス構造や地形、気象条件の違いによって高温対策の効果が異なることを確認できました。

今回の視察で学んだことを、当地域に適した高温対策技術の確立につなげていきます。



【試験場職員との意見交換】

6 JAえびの市夏秋きゅうり栽培講習会及びほ場巡回を実施

2日に、えびの市の加久藤駅にて栽培講習会が開催され、その後、部会員ほ場を巡回しました。

講習会では、JAみやざき本店から基本的な栽培管理について説明があり、生産者からは露地での高温対策について質問がありました。その後のほ場巡回では、前日の雨でほ場に水が溜まっていたため、排水対策の重要性や対策方法について説明があり、生産者は熱心に説明を聞いていました。

お盆頃までの収穫となりますので、今後は作終盤の整枝剪定方法やかん水管理などの指導を行っていきます。



【生育状況の確認】

7 第17回JAこばやしピーマン部会定期総会の開催

23日に、小林市内にて、JAこばやしピーマン部会の定期総会が開催され、主要取引市場や市町、普及センターが参加しました。

議事ではすべての議案が可決され、新たな年度がスタートしました。総会の中で部会長からは、「夏の高温・病害虫に加え中東情勢のせいで物価が高騰しているが、ピーマンは高値で安定しているので、良い品目なのでがんばって生産して行きましょう」との発言がありました。

普及センターとしては、今年度も引き続き夏秋ピーマンにおいて高温対策の実証をJAと連携して行っています。実証結果は部会講習会等で周知し、技術の波及を図っていきます。



【表彰を受ける生産者】

8 令和7年度JAこばやしにら部会講習会及び定期総会の開催

28日に、小林市内にて、JAこばやしにら部会の講習会及び定期総会が開催され、普及センターは講師及び来賓として参加しました。

講習会では、高温対策技術や株養成期間の肥培管理について説明しました。生産者からは、高温期のかん水時間や土壌消毒の方法について質問がありました。講習会後には総会が開催され、すべての議案が可決されました。総会冒頭の部会長あいさつでは、「夏の高温・病害虫に加え物価高騰など生産現場は大変な苦労があるが、にらは単価が良いため安定して出荷できるように頑張りたい」との発言がありました。

収量向上のために、今年の夏は、株養成期間の肥培管理について指導を行っていきます。



【部会長のあいさつ】

9 令和7年度小林市いちご生産部会定期総会の開催

29日に、小林市内にて、小林市いちご生産部会の定期総会が開催され、普及センターは来賓として参加しました。議事ではすべての議案が可決され、新たな年度がスタートしました。普及センターからは、いちご育苗における高温対策として、昨年度実施した遮光ネットやポットの実証結果について説明を行いました。生産者からは遮熱塗布剤の効果や今年の定植タイミングについて質問がありました。定植まで約2ヶ月となりましたので、苗が暑さに影響されないよう、かん水や高温対策などの技術指導を引き続き行っていきます。



【部会長のあいさつ】

10 小林市須木果樹振興協議会の栗夏季剪定講習会の開催

17日に、小林市内にて、須木果樹振興協議会の栗夏季剪定講習会が開催され、18名の生産者、2名の関係機関が参加しました。

最初に木陰で講習会資料を説明し、次に栗園に移動して夏季剪定の講習を行いました。暑い中、生産者同士で熱心に剪定方法について意見を交わしていました。

8月には、えびの市の優良園地の視察研修が計画されています。



【夏季剪定のようす】

11 宮崎県果樹振興協議会くり部会栽培研修会の開催

22日に、えびの市内にて、県果樹振興協議会が主催するくり部会の栽培講習会が開催され、関係機関も併せて119名の出席がありました。

最初に屋内でドローン防除と立ち枯れ症状についての研修会があり、つぎに屋外での栽培研修会がありました。

この現地は、来年の7月に開催される全国クリ研究大会の現地視察予定園地となっています。



【栽培研修会のようす】